

- 1942. Gramina Japonica III. Act. Phytotax. Geobot. **11**: 27—56.  
 ——— 1942. Gramina Japonica IV. Act. Phytotax. Geobot. **11**: 145—193.  
 Ono, H. & T. Tateoka. 1953. Karyotaxonomy in Poaceae I. Chromosomes and taxonomic relations in some Japanese grasses. Bot. Mag. Tokyo **46**: 18—27.  
 Reeder, J. R. 1951. *Setaria lutescens* an untenable name. Rhodora **53**: 27—30.  
 Stapf, O. 1928. *Setaria glauca* and *S. lutescens*. Kew Bull. **1928**: 147—149.

□ **Index Hepaticarum**, Pars I, *Plagiochila* (Dum.) Dum., pp. 340. 1962. Compiled by C. E. B. Bonner; published by J. Cramer, Weinheim/Bergstr. (Germany) P.O. Box 166. Dm. 36. (\$9.) 1954 年パリで開かれた第 8 回国際植物学会議の蘚苔類部会でコケ類の Index の編集が論議された。本書の編集方針はその線に添ったもので、要約すると (1) 既発表のすべての epithet を著者名と発表年をつけて ABC 順に配列する。(2) 原典の引用に際しては適宜 (例えば nomen novum など) 表示をつける。Stephani の Species Hepaticarum に掲載されているものは Sp. Hep. の巻、頁を引用する。(3) 基準標本は詳しく書く。所蔵ハーバリウムがわかっていれば、Index Herbariorum の略字に依って示す。基準標本は basionym の項に記載する。(4) 地理的分布をつける。第 1 巻はハネゴケ属 (*Plagiochila*) のみから成っている。これは本属が 1500 以上と推定される種を含む超大属であって、その整理が焦眉の急とされていたためである。次に 1 例として 131 頁の第 4 項をそのまま転写して説明する。

**GYMNOCAKYCINA** (Lehm. & Lindenb.) Lindenb.—1841

Lindenb. Spec. Hepat.: 48

Steph. Sp. Hep. 2: 250. 1902 (sub Plag. rutilans Lindenb.)

Type: sub *Jungermannia*

Dist.: Brazil, Peru.

第 3 行目のカッコ内の表示は *Plagiochila rutilans* の異名として扱われていることを示し、その次の行の基準標本は *Jungermannia gymnocakycina* と云う basionym の項を参照せよと云う意味である。

本書を通覧して色々と不便、不満もあるが、慾を云い出すと限りがなく、途方もなく膨大な本になり、現在そんなものが発行出来るかどうかあやぶまれる。1900—1924 年に発行された Stephani の Sp. Hep. 以来、本書のような出版がなく、非常な不便を感じて来たので、一日も早く全巻の出版が終り、附録として本書を成可く活用出来るような索引が出るよう望まれる。

(服部新佐)